

目次

I

【論文・書評】

願望の MÖGEN の二つの型.....	3
話法の助動詞の定義.....	7
配語法に関する私見——定動詞が文頭に置かれた場合——.....	19
不変化詞の一つの用例.....	23
ABTÖNUNGSPARTIKELN IM DEUTSCHEN UND JAPANISCHEN.....	27
Valenzwörterbuch の示唆するもの.....	35
ゲーテ時代の心態詞 補遺.....	39
いわゆる軽蔑的接尾辞 -ei / -[e]lei / -[e]rei による即席造語.....	43
ゲーテの『ファウスト第一部』の「夜」の場面の冒頭で ファウストの語る Juristerei をいかに解釈すべきか.....	122

*

PETER V. POLENZ: SPRACHPURISMUS UND NATIONALSOZIALISMUS.....	126
Die Partikeln der deutschen Sprache Hrsg.v.Harald Weydt.....	129
Hermann Paul: Deutsches Wörterbuch.....	133

II

【IVG】

IVG のこと.....	139
IVG 東京大会と振興会.....	142
IVG だより.....	144
IVG の東京大会.....	146
IVG だより.....	148
Vorbemerkung.....	150
Eröffnungsrede des Präsidenten der IVG.....	151
Schlußwort des Präsidenten.....	158
Bericht des Präsidenten über den Kongreß in Tokyo.....	159
他者との出会い.....	165
IVG 東京大会報告.....	168

III

【随筆】

Warum nicht gar!	173
関口存男著『独作文教程』の独訳	174
蓼科ゼミナールと Martin Walser	176
Das ist doch Quatsch ist das!	178
Gesicht と Geschau	180

IV

【座談会】

座談会 文法理論と教授法	185
鼎談 語学のおもしろさ	212
教養課程のドイツ語教育を考える	233
鼎談 話し言葉の問題	255
各国の国語辞書の現状	273
座談会 いま、なぜ独和大辞典か—小学館「独和大辞典」の刊行を前に	292
対談 日本人がドイツ語を話す時	302

* * *

履 歴／業 績	323
---------------	-----

* * *

一

【随筆】

一冊の辞書	3
会報の発行について	5
日本語の美しさ	6
動詞の結合価	8
ポーレンツ教授のこと	10
ヴァイトさんのこと	13
【文化勲章受章を祝う】日本のドイツ語学事始め—相良守峯君—	16
魅力ある未知の分野 間投助詞・心態詞など	18
「ラテルネ」に寄せて	21

巻頭言	23
新聞の日本語表記	25
『ラテルネ記念綜輯号』で再会した故人たち	27
「とかく」と「とにかく」	29
一冊の独文科名簿	32
ドイツ語教育部会発足のころ	34
さる飲み屋での耳学問	36

二

【成蹊】

戦場で働く動物	41
追悼會	42
秋の日光	43
マルコニー	46
人間の偉力	47
雲巖寺	49
傳統ということ	51
三上和一先生の思い出	53
成蹊会会長に就任して	57
成蹊会会長辞任にあたって	59
ドイツ語とわたくし	61
100年史編纂のための聞き取り調査の概略	69
清水護先生に献げる	78

三

【追悼】

木村先生の思い出	83
追悼と送別	85
守山さんを偲ぶ	87
弔辞 島田 勝君	89
島田 勝君を偲んで	92
塩谷 饒君のこと	95
星野慎一先生を偲ぶ	99
弔辞	103
故登張正實会員追悼の辞	106

偲ぶ会のあいさつ	110
関楠生君についての忌まわしい思い出	112
あしがき	刊行委員会 ... 328